

コミュニティ・バンク京信の ソーシヤル（SDGs／ESG）の取組 【金融版】

2024年11月28日

 コミュニティ・バンク京信

京都信用金庫の概要

設立	1923(大正12)年
預金積金	2兆8,710億円
貸出金	1兆8,456億円
常勤役職員数	1,551人
店舗数	94店舗

2023年3月末時点



コミュニティ・バンク
京信

1971年 日本で初めて「コミュニティ・バンク」宣言

2017年 ノルマ（個人業績評価）を廃止

2020年 イノベーションの創発拠点「QUESTION」を新築
「ソーシャル企業認証制度 S認証」を創設

2023年 創立100周年を迎え、ブランドネーム「コミュニティ・バンク京信」を制定

信用金庫の精神と「コミュニティ・バンク」の理念

「コミュニティ・バンク」の理念

① 1971年(昭和46年)に日本で初めて「**コミュニティ・バンク**」宣言

② 理念は、

会員・顧客の繁栄、職員・家族の繁栄、地域社会の繁栄。

(三方よし、利他、公益資本(ソーシャル・キャピタル)の考え方と類似しており、自己の利益追求のみを事業目的とせず、地域の発展を目的とする金融をめざす。)

③ ミッションは、**地域における社会課題の解決に取り組む**こと。



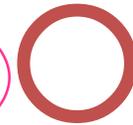
コミュニティ・バンク京信

よりよい地域の未来のためには



利己
私利私欲

人に優しい、地球に優しい
社会をめざす



利他
公益共助

事業者

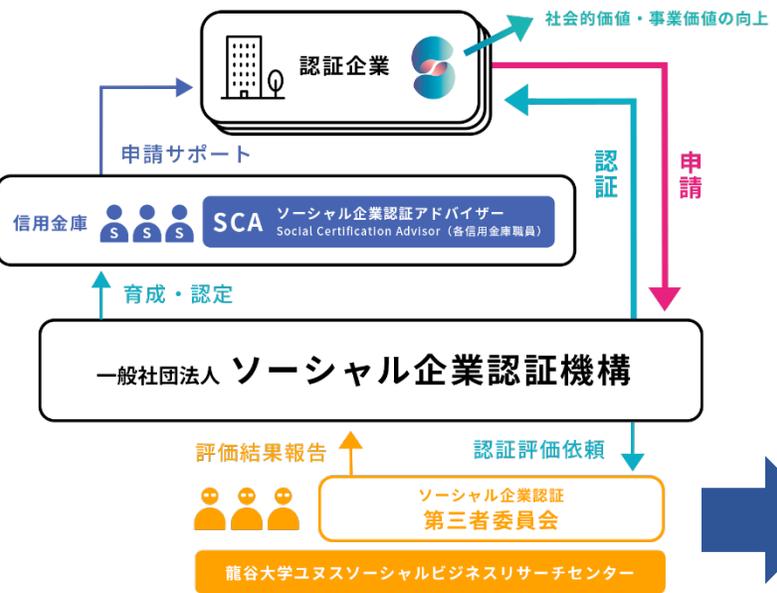


消費者

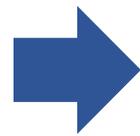
両サイドの価値観の軸が変わらないと、
社会の持続性は向上しない！

事業の持続性と同時に地域課題が解決されうる関係性（コミュニティ）形成する

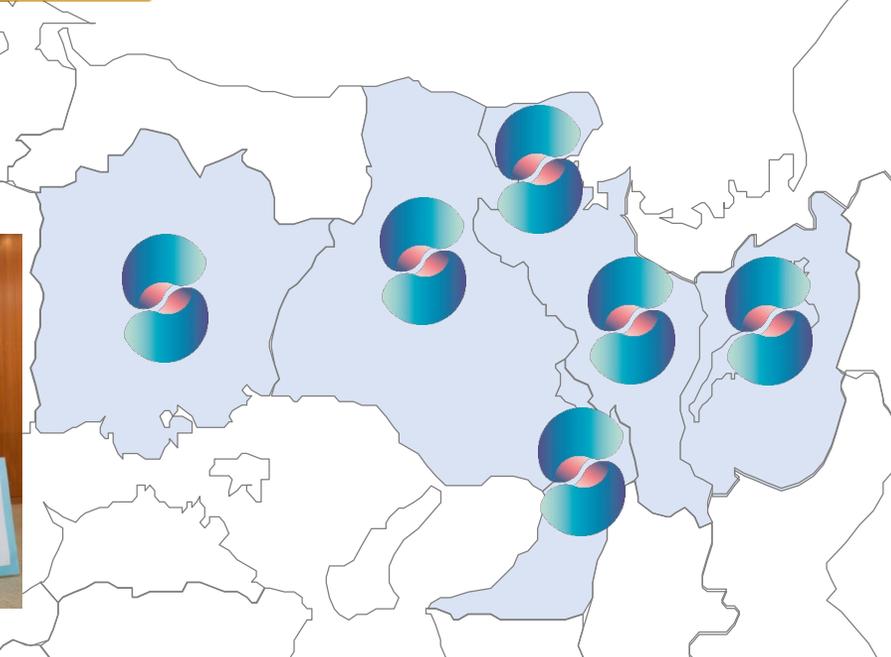
ソーシャル企業認証制度 S認証



ソーシャル企業認証制度は、京都信用金庫、京都北都信用金庫、湖東信用金庫、龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンターの間で締結された協定のもと、社会課題解決を目指す企業に対し経営方針や事業内容、社会的インパクト等を基準に評価・認証を行う**社会的認証**の枠組み。※現在連携金融機関は**6機関**
申請を通して企業活動における“気づき”を促進することで、企業の社会的価値を高めることを目的とする。



社会課題に取り組む企業の成長を支え、地域経済の持続的成長につながる企業・消費者のエコシステム構築を目指す。



運用開始	2021年4月1日
認証企業数	1,253社 (2024年10月末現在)
連携金融機関	京都信用金庫 京都北都信用金庫 湖東信用金庫 但馬信用金庫 (兵庫県豊岡市) 2023年1月 玉島信用金庫 (岡山県倉敷市) 2024年4月 枚方信用金庫 (大阪府枚方市) 2024年4月



S認証を活用した金融商品

想いをむすび、地域をゆたかに

京信 **ソーシャル・グッド預金**

Kyoshin Social Good Deposit

「世の中を少しでも良くしたい」という預金者の想いを6つのテーマに乗せて企業に託し、今も未来も安心して過ごせる地域をともに創るための預金です。



6つのテーマ

- 地域** 安心できる地域づくり
- 文化** 文化をずっと残したい
- 医療・福祉** すこやかな心と身体のために
- 教育** みんなに教育を
- 環境** 誰もが住みよい環境づくり
- 働き方** 暮らしも仕事も大切に

3つの特徴

- お客様の想いを託せます!**
6つのテーマの中から、「良くしたい」と思うテーマを選んでお預け入れいただくことで、そのテーマに取り組む企業に想いを託すことができます。
- 企業の想いもお伝えします!**
お預け入れいただいた皆様に、6つのテーマに沿った取組を行う企業の想いや活動情報をお届けします。
- みんなで「ソーシャル・グッド」な世の中へ!**
ご希望される方には、企業の活動情報だけでなく、企業と出会う場や、セミナー・体験プログラムなどをご案内させていただきます。

取扱期間：2023年4月3日(月)～2024年3月29日(金)
予定販売額1,000億円に達した時点で、新規取扱を終了させていただきます。

想いをむすび、地域をゆたかに

京信 **ソーシャル・グッド融資**

Kyoshin Social Good Loan

社会をより良くするための事業活動を行う皆さまを、ご預金者様の想いをのせて応援する融資商品です。



6つのテーマ

- 地域** 安心できる地域づくり
- 文化** 文化をずっと残したい
- 医療・福祉** すこやかな心と身体のために
- 教育** みんなに教育を
- 環境** 誰もが住みよい環境づくり
- 働き方** 暮らしも仕事も大切に

■ご利用いただける方

当金庫営業エリア内で事業を営み、下記のいずれかに該当する法人・個人事業主の方
①「ソーシャル企業認証制度 S認証」の認証を受けている方
②「ソーシャルビジネスを営んでいる方」

■商品概要

社会をより良くするために、当金庫が指定する6つのテーマ(「地域」「文化」「医療・福祉」「教育」「環境」「働き方」)に沿った事業活動を行っている方へ向けた融資商品です。

- お使いみち…運転資金・設備資金
(設備資金については、上記6つのテーマの課題解決に係るものに限ります。)
- ご融資方式…証書貸付
- ご融資金額…1企業(個人事業主を含む)あたり1,000万円以内(ただし、所要資金の範囲内)
- ご融資期間…運転資金 10年以内
設備資金 15年以内
- ご返済方式…元金均等返済
- ご融資利率…年0.900%(変動金利)
※ご融資利率は金融情勢の変化により変更することがあります。表示の利率は、2022年1月4日現在の当金庫短期プライムレート(年2.8%)を基準としたものです。ご融資後の融資利率は当金庫短期プライムレートに連動する変動金利です。
- 保証人……法人:原則代表者1名 個人事業主:原則不要
- 担保……原則不要

■審査の結果、ご希望に添いかねる場合があります。
■くわしくはお近くの店舗までお問い合わせください。

「世の中を少しでも良くしたい」という想いを預金に乗せ、それに取り組む企業に託すことや、預金者同士、預金者と企業のコミュニティ創出を目的とした定期預金商品「京信ソーシャル・グッド預金」を2022年1月より開始しました。
 ご預金時に**6つの項目を選択**いただくことができ、**預金者とS認証企業を繋げる取り組み**として、公式LINEによる紹介動画やソーシャルなイベントなどの告知や、S認証企業をより知ってもらえるようなイベント（Social good day）を開催しています。



預金者専用公式LINE



京都府ゼロカーボン・フレームワークの概要

地域金融機関と連携して、「京都ゼロカーボン・フレームワーク」を活用した**サステナビリティ・リンク・ローンの組成**等を通じ、2050年カーボンニュートラル達成に資する府内企業の脱炭素化の取組を推進（R5.1.30運用開始）

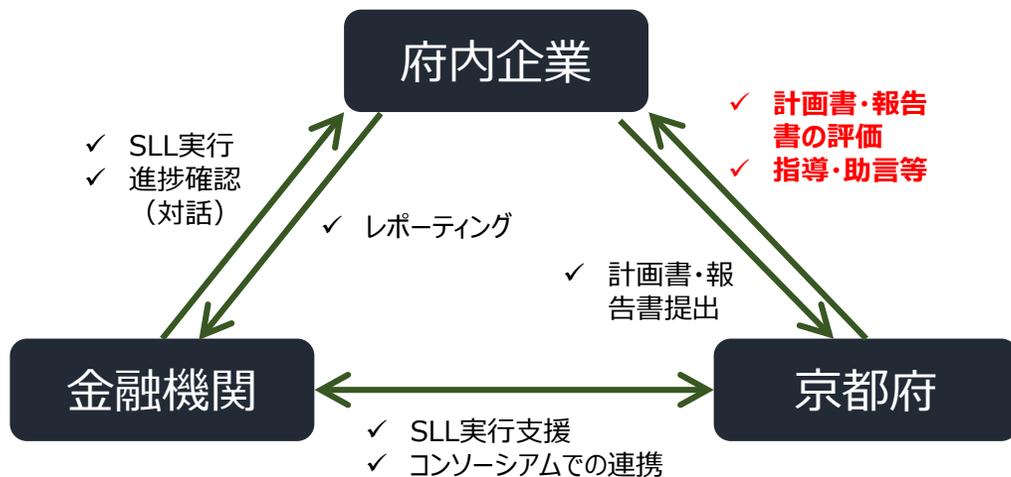
※全国初の金利優遇スキームであり、環境省「令和4年度グリーンファイナンスモデル事例創出事業」に採択

※第11回プラチナ大賞において、「大賞・経済産業大臣賞」を受賞

- 中小企業へのアプローチとして金融機関の融資ネットワークに着目。**削減目標の達成により金利優遇を受けられる融資契約**において必要な第三者評価に、京都府条例に基づく特定事業者制度を準用し、**審査コストを省略**
- KPI：府内事業者の事業活動から排出されるCO2排出量の削減
- SPT：業務部門▲6%、産業部門▲4%、運輸部門▲2%
※特定事業者制度の目標削減率と同等水準

フレームワーク

1. フレームワークの利用開始日
令和5(2023)年1月30日～ ※2030年度末まで
2. 利用可能な事業者
府内に事業所（工場、事業場、店舗等）を有する事業者
3. 取り扱い金融機関
株式会社京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、京都北都信用金庫
株式会社南都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社商工組合中央金庫



主なメリット	京都ゼロカーボンフレームワーク
組成手数料 (第三者認証費用)	0円/件
最低融資金額	設定なし
金融機関事務 (SPT設定・評価等)	なし



目指せ脱炭素！
環境にやさしい設備投資を！

SLL融資導入サポート

当金庫久御山支店のお取引先株式会社コーシン様は精密板金加工、製缶加工を主業とされており、少ロット品から量産品まで、一貫工程によってコストを抑えながら、迅速な納品をモットーにされています。

SLLとは？
(サステナビリティ・リンク・ローン)



京都府が構築した「ゼロカーボン・フレームワーク」により、地域金融機関と連携して府内企業の脱炭素化（CO2削減）を支援する全国初の仕組み。「排出量削減計画書」が認定された企業が利用できる融資。



導入した脱炭素基準クリアした
レーザー溶接機と加工機



環境に配慮した設備の導入で、新分野へ挑戦！

同社は蓄電池部品製造という新分野へ挑戦すべく、事業再構築補助金を活用して、設備導入（レーザー加工機・溶接機）を検討されていました。どちらもファイバーレーザーを使用しており、エネルギー効率が高く、消費電力も抑えられるといった利点があります。また加工スピードが速く、仕上がりもきれいなので、外注費を削減できたり、新たな顧客獲得や加工案件の増加が見込め、事業領域の拡大による経営基盤の強化が図れると判断されたものでした。

そうした中、2022年秋に京都府が提唱した「サプライチェーン脱炭素化支援事業」で同社がサプライチェーンの中小企業のモデル企業に選出されました。同社の代表取締役 恩田 健帥様ご自身も、脱炭素に向けた計画を策定したこともあって脱炭素に対する関心が高く、資金計画を立てる際に、京都府がリリースした「SLL」を視野に入れておられました。

SLL融資の利用に向けて、計画書の策定を支援

SLLを利用するにはCO2排出量削減計画書の策定や京都府との連携が必要でした。この相談を受けた当金庫久御山支店の営業担当である後路は、当金庫企業成長推進部と協力しながらサポート。同行訪問に加えて、申請に必要な「排出量削減計画書」の策定に伴走支援させていただきました。その結果、同計画書が認定され、当金庫で「京都府ゼロカーボン融資」の第1号取組となりました。



Work Act Questにご参加中の
恩田社長

当金庫は、地域企業に対してより良い社会を創造するためのアドバイスや資金支援を行うことを通じて、今後も取引先の脱炭素化支援に積極的に取り組んでまいります。

京信さんには「日本一サポートしてくれる金融機関」になってもらいたい！



株式会社コーリン
恩田 健帥様

設備更新すると「それを使って良いものができる」という想いも目覚め、社員のモチベーションアップにもつながります。レーザー加工機の導入は新しい仕事にもつながり、納期のスピードアップにも貢献しています。後路さんは私が何気なく話したことの中で、キーワードとなることを覚えてくれて、色々な提案をしてくれたり、人を紹介してくれたり、その洞察力に驚かされています。

SLL融資の導入のお手伝い以外にも、当金庫が主催する働き方探求プログラム「Work Act Quest」をご案内し、ご参加いただきました。恩田社長は、社内の職場環境をより良くしていきたいという目線も持っておられたので、同プログラムを通して、目指すべき「これからの働き方」を戦略的に捉えると共に、参加者が自社の新たな「働き方」を見つけ、働きがいのある会社に変革することにもご支援させていただきました。



コミュニティバンク京信
後路 直紀